

# ぐんまちゃんシター



群馬県の旬のおすすめ情報を  
「ぐんまちゃん」がお知らせします

2017年4月号

発行：群馬県広報課 ぐんまイメージアップ推進室  
TEL：027-897-2695 FAX:027-243-3600  
E-Mail：kouhouka@pref.gunma.lg.jp

## 東国文化の中心地 ぐんま



### 保渡田古墳群(高崎市)

5世紀後半～6世紀初め(古墳時代中期)に造られた3基の大型前方後円墳(井出二子山古墳、保渡田八幡塚古墳、保渡田薬師塚古墳)からなる古墳群。この時期に墳丘100m前後の古墳が近接して3基も築かれた例は、東日本ではこの保渡田古墳群のみ。保渡田古墳群のひとつ、保渡田八幡塚古墳は、平成11年に保存復元整備されました。大型古墳の復元は全国でも珍しく、数例しかありません。古墳には、約6,000体もの埴輪が飾られています。

# 東国文化とは？～今に伝わる群馬の歴史～

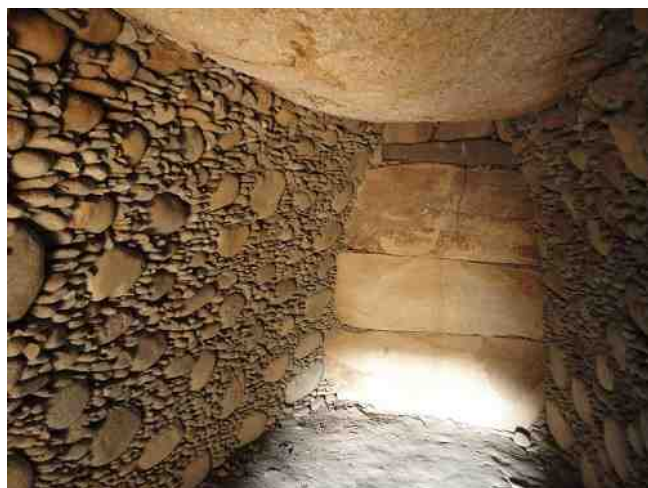
古墳時代を中心に、現在の関東地方で栄えた文化を「東国文化」といいます。当時の日本では近畿地方が政治・経済・文化の中心地でしたが、群馬は、ヤマト政権と連携した大きな勢力が形づくられ、仏教や文字文化が早くから発達し、経済的にも文化的にも当時の東日本をリードする先進的な地域でした。その背景には、現在と同様に、交通の要である群馬の重要性和中国大陸や朝鮮半島の文化や技術の伝来が、大きな役割を果たしています。群馬には多くの歴史文化遺産が残されており、私たちに当時の様子を語りかけてくれています。

今年3月には県内の古墳の総数を確かめる約80年ぶりの総合調査が終了し、その総数は13,249基と発表されました。この数は全国でもトップクラスで、東日本屈指の古墳大国であることがあらためて確認されました。

## 石組みの美しさが秀逸！～伊勢塚古墳～

群馬県には、東日本最大の「天神山古墳」(太田市内ケ島町)のように巨大な古墳もあれば、規模は小さいながらも石室の石組みがとても美しい、知る人ぞ知る古墳もあります。

「伊勢塚古墳」(藤岡市上落合)は、6世紀後半に造られた円墳(もしくは不正八角形墳)。この古墳の最大の特徴は、珪岩の丸石と片岩の棒状礫を巧みに配置した「模様積み」と呼ばれる横穴式石室です。石室が開放されているため、約1400年前の高度な技術を間近に観察することができます。



## 墳丘の美しさは県内随一！～七輿山古墳～



伊勢塚古墳のほど近くにある「七輿山古墳」(藤岡市上落合)は、6世紀前半(古墳時代後期)に造られた前方後円墳です。全長145mで県内第4位の規模を誇り、6世紀代の古墳としては東日本最大級です。高さが16mもある古墳は珍しく、墳丘の美しさは県内随一とされています。

藤岡地域は古代、<sup>みどの</sup>「緑野」と呼ばれ、535年<sup>みやけ</sup>に屯倉(ヤマト政権が直接治める地域)が設置されたという記録があります。時代的にも古墳の内容

からも、七輿山古墳に埋葬された人は、緑野屯倉を治めるために畿内から来た、ヤマト政権とつながりの深い人物であった可能性があります。

もっと知りたい！

【藤岡歴史館】藤岡市内の遺跡から出土した土器や石器などの埋蔵文化財を保管し、展示する施設。体験学習や講演会などに利用される学習室、埋蔵文化財を保管する収蔵庫、考古遺物など修復・記録作業する整理室も整備し、祖先が残してくれた貴重な考古遺産を活用し、世に伝えています。

# 世紀の大発見、続々！群馬の姿が明らかに 日本初！甲を着た古墳人



2012年11月、金井東裏遺跡(渋川市金井)で発見された、前のめりに倒れた状態の古墳時代の人骨。古墳時代の火山災害の犠牲者が発見されたこと自体全国で初めてで、まして甲を着て亡くなった状態だったため、さらに衝撃の発見となりました。

6世紀初頭に起きた榛名山噴火の犠牲者で、貴重な小札甲こざねよろい(小さな鉄板を数百枚つなぎ合わせたもの)を身に着けていたことから、地域社会のリーダーであった可能性があります。

この「甲を着た古墳人」は、渡来人系の顔立ちをしています。詳細な科学分析によって、長野南部の伊那谷周辺で幼少期を過ごし、その後に群馬にやって来た可能性が指摘されています。

## 金井下新田遺跡からも！

昨年5月には、金井東裏遺跡の南に隣接する金井下新田遺跡から、地域首長による政治や祭祀の拠点と考えられる遺構が発見されました。祭りに使われた土器が豊富に出土し、竹串の位置からは滑石製のビーズが見つっています。

また昨年10月には、火砕流に流された3頭の馬が出土する(骨だけではなく馬体の輪郭が残っているのは全国初!)など、現在でも驚きの発見が続き、徐々に古代群馬の姿が明らかになってきています。



## 「東国文化」関連情報

### 東国文化ゆかりの地巡り —古代の群馬を探検せよ—



群馬県では、県内の歴史文化遺産を巡る、スマートフォンアプリやチラシを使用したスタンプラリーを実施中です。ぜひご参加ください。

開催期間：平成30年3月31日(土)まで

開催場所：群馬県の代表的な史跡・関連施設等(23箇所)〔県立歴史博物館のみ、7月15日(土)から開始予定〕

※詳細は以下のURLをご覧ください。

<http://www.pref.gunma.jp/03/c4200287.html>



### 東国文化自由研究



知事賞を受賞した石井優芽さん(藤岡市立東中学校1年)の研究作品の一部

古墳や史跡、博物館などを訪れて歴史や文化を研究することで、子どもたちに郷土への誇りや愛着を深めてもらうため、群馬県で毎年夏休みに県内の小中学生から募集しているものです。

昨年度も1,000点を超す応募があり、入賞作品については県庁で行われた発表会において受賞生徒が研究成果を発表しました。

# 上野三碑、ユネスコ「世界の記憶」登録へ

高崎市の南部に近接する、山上碑、多胡碑、金井沢碑の3つの石碑を総称して「上野三碑」と呼んでいます。これらは国宝と同格の「特別史跡」に指定され、約1,300年の時を超え、仏教や文字の広がりや渡来人の動き、大和朝廷の支配体制など、当時の様子を伝えています。平安時代以前の石碑で国内に現存するのはわずか18基ですが、群馬県には上野三碑を含め4基もあります。

上野三碑は、古代東アジアにおける文化交流を示すものであること、また、地元住民によりこれまで大切に保存、継承されてきたことの2点において世界的に重要なものとして、昨年5月にユネスコ「世界の記憶」への登録申請がなされ、現在登録を目指しています。

## 山上碑（高崎市山名町）

大きさ：高さ111cm/幅47cm/厚さ52cm

碑文：縦書き4行・53字、輝石安山岩製

681年に、放光寺の僧侶である長利が母の供養のために建てた石碑です。

完全な形で残る石碑としては日本最古であり、日本語の順番に並べられた碑文としても最も古く、日本語の成立を知る上で大変貴重な資料です。



## 多胡碑（高崎市吉井町）

笠石の大きさ：幅95cm/奥行90cm/中央厚さ27cm/軒面厚さ15～17cm

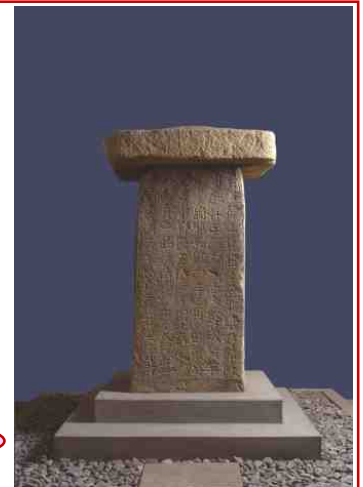
碑本体の大きさ：高さ129cm/幅69cm/厚さ62cm

碑文：縦書き6行・80字、牛伏砂岩製

711年に、多胡郡が成立したことを記念して建てられた石碑で、当時の国づくりの様子がわかる貴重なものです。

また、書道史上重要な碑として、那須国造碑(栃木県)、多賀城碑(宮城県)とともに、「日本三古碑」とされています。

もっと知りたい！



【多胡碑記念館】世界の文字の刻石資料(レプリカ)、古代多胡郡内の出土資料等が展示され、多胡碑の歴史的背景を多角的に知ることができます。多胡碑のすぐ北側、いしぶみの里公園内にあります。

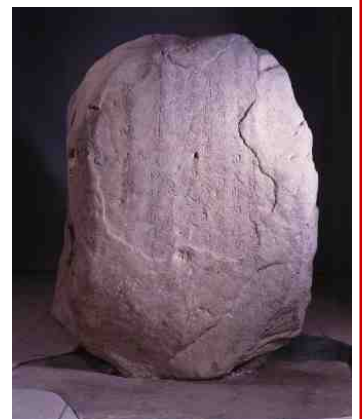
## 金井沢碑（高崎市山名町）

大きさ：高さ110cm/幅70cm/厚さ65cm

碑文：縦書き9行・112字、輝石安山岩製

726年に、仏教の教えで結ばれた一族が、祖先や父母の供養のために結集することを誓ったものです。碑文からは、仏教の広まりや当時の社会の様子を知ることができます。

また、碑文に出てくる「群馬」の文字は、県内では最古の事例であり、群馬県の名前のルーツを知る上で非常に重要な資料です。



# かわいい♡♡コーナー

群馬県では、こんなにかわいらしいものも出土しています♪



人に比べ、馬が  
すごく大きいア  
ンバランスさも  
かわいらしい♪



ぽかんとしたユー  
モラスな表情がキ  
モカワいい♡



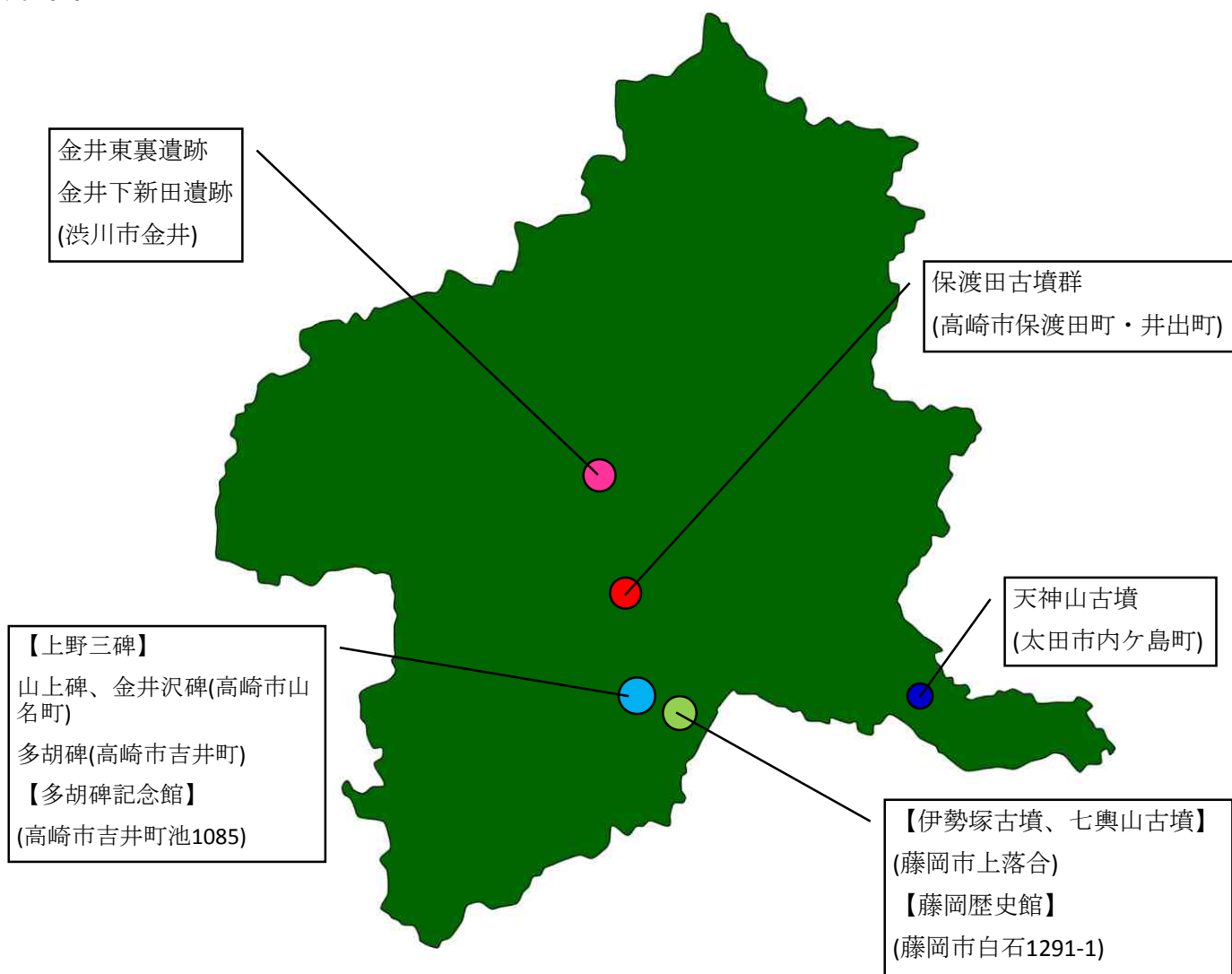
写実的ではないもの  
の、どことなく愛嬌  
を感じさせる表情が  
特徴！

人が馬に乗る姿を表現した  
埴輪は、全国的に見ても貴  
重です。県立東毛養護学校  
(太田市)で工事が行われた  
際、偶然発見されました。

有馬遺跡(渋川市)から出土した  
土器で、弥生時代後期の共同墓  
地に供えられていました。死者  
や祖先の姿を表現した可能性が  
あるとされています。

前橋市と伊勢崎市の間にあっ  
た多田山古墳群から出土した  
もの。通常横を向いている目  
が前を向いており、製作技術  
の未熟さが感じられます。

## 所在地MAP



取材先のご紹介や画像提供など、ご相談ください。

群馬県広報課 ぐんまイメージアップ推進室

TEL : 027-897-2695 E-Mail : kouhouka@pref.gunma.lg.jp